

# 日本ボストン会 会報

第44号



紅葉狩（塩原の紅葉）

## 会長就任に当たって

### 佐藤信雄

昨年11月の総会におきまして第13代日本ボストン会の会長の任を仰せつかりました佐藤でございます。宜しくお願い致します。

家内を含めイベントに余り出席できていないことから新会員に近い状況の私が会長就任をお受けするのは大変気が引けてならなかったのですが、多くの方から「幹事の皆さんがしっかりとされているので大船に乗った気分で行ってください。」との温かいお言葉をいただきそのお言葉に甘えて会長就任を受けさせていただくことになりました。微力ですが日本ボストン会の発展に貢献したいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

さてそもそもの私とボストンとの縁でございますが、今から30年以上前に遡ることになります。私は昭和53年(1978年)に日本興業銀行(現みずほ銀行)に入行し1980年からハーバード・ビジネス・スクール(HBS)のMBAプログラムに留学をいたしました。まさにこれがボストンとの縁が出来た所以でございます。家内もハーバードの教育大学院で学び1982年に同時に卒業をしたのが良い思い出となっております。



HBSに留学した時は、日本経済が高度成長時代を経て世界で初めてのアジア発の経済大国として注目をされ始めた時でありました。1979年にはJapan As No. 1が出版され、さらに日本企業がトヨタ・ソニー・NEC・キャノン・等々綺羅星のように世界の市場でマーケットシェアを増やし、脅威とさえ感じられ始めた時代でした。HBSにおいても日本企業の成功の秘密を学ぼうと授業で使われる日本企業のケースが増えていくのが実感できました。

HBSの後本店勤務を経て1985年から1991年までロンドンに勤



HBS図書館前の広場

務をいたしました。ロンドンでは家族にとっても大変住みやすいところで、家内もロンドン大学でPhDを取得することが出来ましたので、ボストンに並び思い出深い街となっております。

資本市場の発展に伴い興銀のような長期信用銀行のモデルは通用しなくなるとの思いが帰国後個人的にだんだんと強くなっていきました。そのようなときにHBSの卒業生のスイス人が創立したエグゼクティブ・サーチの世界5大ファームの一角を占めているエゴン・ゼンダー・インターナショナルからお声がかかりました。

それまで転職を考えたことはなかったのですがこれをきっかけに真剣に自分の人生を展望し、転職もリスクがあるが残ることもリスクがあること、他方これからは日本においても人材がより流動化し優秀な方が必要とされる職場でより活躍する時代が来るのではと思い15年半務めた興銀を1993年に退職し全く未知の仕事に就くことになりました。

エゴン・ゼンダー・インターナショナルに15年半務め、2009年8月から現職のHBS日本リサーチセンター長に就任いたしました。これがボストンとの関わりの第2章と言えると思います。但し30年前とは日本経済の立ち位置が大きく変わり日本の存在感がない中でどのようにHBSの教授陣に日本企業に興味を持ってもらうようにするのが私の大きなミッションとなっております。

さて日本ボストン会会長としての私の大きなミッションは会員を増やすことにあると思っております。そのための仕掛けや工夫を少しずつ皆さんと一緒に考え実行していきたいと考えております

ですのでよろしくお願ひ申し上げます。例えばボストンからの帰国者の把握を強化する意味でボストン日本人会との連携を強めることも行いたいと思ひ、ボストン日本人会会長の中塚様ともお会いし両者の連携についてご相談申し上げたところ快くご同意いただけました。今後どのようなコラボレーションができるのか皆様とご相談しながら進めさせていただきたいと思ひますのでよろしくお願ひ申し上げます。



## NEXT EVENTS

### 奮ってご参加ください

#### 観桜会

日時：2015年4月4日(土)

午後3時半～

集合：水上バス

浅草船乗り場前

コース：隅田川兩岸の桜土手

を散策の後、レスト

ラン、"バンケット

ルーム.ハーモニック"

で懇親

会費：¥5,000～¥6,000

詳細：[HP](#)

申込・問合せ：[E](#)

#### 春季ゴルフ懇親会

日時：2015年4月23日(木)

午前9時37分第1組

スタート

場所：川崎国際生田緑地

ゴルフ場

会費：¥4,000

詳細：[HP](#)

申込・問合せ：[E](#)

#### 美術と歴史の会

日時：2015年5月20日(水)、

21日(木)

(20日みの参加も歓迎)

集合：伊豆急下田駅、

5月20日正午(12時)

内容：幕末にアメリカと開国

交渉をした記念の場所などの訪問

費用：日帰り¥17,000程度、

宿泊¥35,000程度

詳細：[HP](#)

申込・問合せ：[E](#)

## 2つのタイプの中国人留学生

### 法眼健作

私は明治大学の他に東京六大学には所属していない私立大学でも教えているが、その大学で得難い経験をさせてもらっている。御承知のとおり日本のどの私立大学も少子化で大学経営は大変であるが、この大学は中国から多くの留学生を採ることで成功している。そういう中国からの留学生は大別すると2つに分かれ、一つは奨学金や提携校の枠内での留学生として来日しており、勉強に熱心な学生達である。もう一つのグループはどちらかというと日本での生活を楽しみ、勉強はその次のタイプである。

聞くとところによると中国では浪人は許されず、大学入学統一試験により第一志望、第二志望の大学に入れなかった者は、そのレベルに応じてどこかの大学に割り振られる由である。そこで、親としてはそのような事態を防ぐためには「外国留学」という欄に○をつけておくと、とてつもない地方に行かされなくて済むらしい。

外国で一番人気があるのはアメリカであるが、日本はカナダ、オーストラリアと並び人気がある。

私の所属する大学はそのような学生を多数採っている。そして私は昨秋よりこの両タイプの学生達を別々のクラスで教えることになった。前者の学生達は英語も上手で国際的知識も豊かであるが、後者のグループは勉学よりもスケートボード、ロックミュージック、ファッション、クール・ジャパン系の物事に興味があり、私は授業をとり行う上で始めは大いに戸惑った。しかし回数を重ねる上でこれら学生（便宜上スケートボード組と呼ぶ）との付き合いが始まると、私にとってこの上ない勉強の機会となっていることに気づいた。ごく一般的に言えば私どもが日頃交流のある中国人は、お役人、外交官、ジャーナリスト、ビジネスマン、学者等であり、いわばワンバターン、定形型の人達である。考え方も教条的である。ところがこのスケートボード組は「のんびり組でお金を持っている家庭」の子供達であり、中国人の本音を知ることが出来る。彼らは日本の自由な社会が大好きで中国には帰りたくなく、できればずっと日本に住んでいたいと言う。中には茶髪（ブロンドに近い）の学生（男子）もいるし、冬休みには両親が来るので北海道の雪祭りを見てスキーに行く生徒もいる。皆、育ちが良く、礼儀作法もまあまあ。尖閣などどうでも良く、日本人は親切で幸せと言う。

このような中国人が一人でも増えれば日本は中国との関係において「楽になる」わけであり、私は新学期に新たに入ってくる「スケートボード組」と接する事を楽しみにしている。

## NEXT EVENTS

奮ってご参加ください

### 音楽の会

日時：2015年 5月31日(日)

会場：関幹事宅

内容：ホームコンサート  
関野友記子さんピアノ  
演奏

詳細：[HP](#)

申込・問合せ：[E](#)

### ハイキング・山の会

詳細：未定 [HP](#)

申込・問合せ：[E](#)

### 紅葉狩りの会

日時：2015年10月26日(月)～  
28日(水)

内容：十和田・八幡平国立公園  
及び田沢湖・角館武  
家屋敷

費用：2泊3日で¥50,000程度  
(1泊2日での参加の可)

詳細未定 [HP](#)

申込・問合せ：[E](#)

## 日本人奏者とBSO

### 吉野耕一、赤星昭生 (元日フィル)

御承知の様にBoston Symphony Orchestra (BSO)は指揮者Sir George Henschel (1881-84)で発足した。ロシア人の音楽監督Serge Koussevitzky(1924-49)の下で世界一流の楽団に発展し、Tanglewoodのサマーキャンプも彼の時に発足した。又小澤征爾(1973-2002)が29年の長きにわたって音楽監督を務めた事は良く知られている。

今回の話題はBoston Symphony Hallの定期公演で演奏された日本人(指揮者、独奏者は除く)です。BSOには現在3.5人の日本人奏者がいる。ヴァイオリンの水野郁子が日本人奏者として初めてBSOに参加したのは1969年で、BSO最初の女性ヴァイオリン奏者だった。チェロのSato Knudsenは1983年、オーボエのKeisuke Wakaoは1990年、ビオラのKazuko Matsuzakaは1991年にBSOに参加した。SatoはBSOヴァイオリン奏者と日本フィルハーモニー交響楽団(日フィル)ヴァイオリン奏者が両親なので0.5となった。

ところがそれ以前に日本人奏者がBoston Symphony Hallの舞台でBSOの一員として演奏されたのはあまり知られていない。日フィルはBSOからの呼びかけで1966年から1971年まで5年間楽員交換を行なった。このプログラムはもともとBSO楽員会の提案であったと聞いている。当時のアメリカの極東政策の一環として実現した様です。もともとは日フィルだけでなく他のオーケストラも対象だった。交換の内容はシーズン中(9月-4月)BSOから2名、日フィルからの2名でそれぞれの席で演奏する。給与は自分のオーケストラから、航空運賃は米国側から支給された。当時は1ドル360円の固定レートで外貨割当もある時代で日本側にとってあまり楽ではなかった

初年度は若い独身者を派遣することになり、小野(ビオラ)勝田(チェロ)に決まり、BSOからボブとリチャードが一家そろって来

日した。日フィルは彼らをお大歓迎し、音楽的にも、人間的にも素晴らしい影響を受けた。2年目は読売交響楽団(読響)の筈でしたが、読響は指揮者アーサーフィドラー(ボストンポップス)とアメリカ各地を巡回するツアーが入り、当然ながらBSOのメンバーは参加したくなく、再度日フィルとの交換になった。急な話で事務局は乗り気でなかったが、文化放送古田信社長(楽団長)の鶴の一声で急に決まった。渡邊暁雄(指揮者)から吉川と赤星の派遣を指示された。吉川が行くなら家族も参加すべきだと提案して、自費でしたが家族も参加する事が決まった。ビオラの赤星は松山中学の大先輩であることに気がつき、彼等一家のボストン滞在中は楽しく付き合った。以下は赤星昭生先輩のボストン滞在記です。

シーズン開始まで一か月も無く、長女は学校(4年生)があるので、田舎(四国の松山)の両親に預け、家内は下二人をつれて、吉川一家と一緒に遅れて10月にボストンに着いた。パーソナルマネージャーのモイヤーやヴァイオリンのローテンバーグが環境の良い所に住むべきだと努力され、ブルックラインに決まった。6才の次女は小学校に入り、日本人は一人も居ない学校に10分以上の道を雪の日も一人で歩いて通った。英語が話せないはずなのに先生の話を理解し、後では友達を連れてくるようになった。客人とは云え、税金を払っていない我々の子供を学校に受け入れるアメリカに感動した。

素敵な経験をさせてもらったシンフォニーとポップスのシーズンが終わる頃BSOのサマーキャンプのタングルウッドに家族ぐるみ招待された。家内は長女との約束通りに帰国すると申したら、BSOの楽員会が長女と他の子供達の経験が違うのは良くない、長女をタングルウッドに呼び寄せるべきだと航空運賃をカンパしてくれた。私達はBSOの素晴らしい音と共にボストンとBSOの素晴らしい心をいただいた。

米国からの予算が削減され、このプログラムの継続があぶなくなった。吉川はこのプログラムは日フィルで継続すべきだと、BSOに働きかけ、日本サイドのスポンサー探し行動した。毎年1名ずつになったが、その後3年間継続する事が出来た。5年間の交換楽員を下に示す。

### 5年間の交換楽員

シーズン	楽器	BSO	日フィル
1966 - 1967	ビオラ	Robert Karol	小野好之輔
	チェロ	Richard Kapuscinski	勝田聡一
1967 - 1968	ヴァイオリン	Ronald Knudsen	吉川利幸
	ビオラ	George Humphrey	赤星昭生
1968 - 1969	ヴァイオリン	Sheldan Rotenberg	田中栄一
1969 - 1970	ビオラ	Yizhak Schatten	杉江弘伸
1970 - 1971	チェロ	Carol Procter	土田英信

## 山口静一会員による名古屋ボストン美術館での特別講演

名古屋ボストン美術館で「ボストン美術館 華麗なるジャポニスム展 ボストン美術館 華麗なるジャポニスム展」が2015年1月2日から5月10日(日)まで開催されている。この展覧会の副題は「印象派を魅了した日本の美」である。

この展覧会は、昨年初夏に世田谷美術館、秋に京都市美術館で開催されたが、巡回展覧会の最後として名古屋美術館で行われる。両

美術館で鑑賞の機会が無かった会員の方にお勧めする。

なお4月18日(土)に元名古屋ボストン美術館長であり、日本ボストン会の会員である山口静一さんが特別講演「ボストン美術館のジャポニスム」の講師を務められる。聴講を希望される方は申込方法が名古屋ボストン美術館のホームページに出ているのでご覧ください。応募は往復ハガキないし電子メールでできるが、その申込の締め切りは3月28日である(応募者多数の場合は抽選で150名)。

(文責 美術と歴史の会 幹事 三好 彰)

## ワーキンググループ活動報告

### 活動年表

2014年 (平成26年)

11月15日 紅葉狩り (塩原)  
 11月14日 年次総会  
 11月20日 ゴルフの会 秋季ゴルフコンペ懇親会  
 (川崎国際生田緑地ゴルフ場)

2015年 (平成27年)

1月4日 ハイキングの会 (隅田川七福神)  
 1月18日 伝統芸の会 (歌舞伎鑑賞)

## 2014年年次総会

日本ボストン会の2014年度年次総会は、11月14日午後6時より8時半まで、毎年恒例になっているNEC三田クラブで開催されました。

年に3回開催されている幹事会の出席率が高く、毎回20数人参加されていますが、年次総会には、年に1回だけお目にかかれる会員も参加されるので、会員相互の親睦をはかれる良い機会となっています。

かつて行われていた、特別講演や、演奏会は有りませんでした。歴代の会長経験者の方もご都合をつけて多く参加され、懇談は大変盛り上がりしました。今回の参加者数は40名でしたが、初めて参加された会員も十分楽しめられたことと思います。

今後もできるだけ多くの会員に参加していただけるよう、楽しい懇親の場にしていきたいと思いますので宜しくご参加をお願い致します。

(年次総会 総合司会担当 近藤 宣之)

## ハイキングの会 隅田川七福神めぐり

日時：平成27年1月4日（日）9時50分～15時半

9時50分に東武スカイツリーライン鐘ヶ淵

駅鐘ヶ淵駅に集合。青砥まで行った人の到着を待つ。七福神めぐりのパンフレットを駅で受け取り、幹事を先頭にいざ出発。



最初は多聞寺の毘沙門天。案内標識に従って十分少々歩くと辿り着いた。毘沙門天は上杉謙信が信仰した軍神として有名。拝礼するもご本尊を拝むことは出来なかった。多聞寺を後にして、次は白髭神社の寿老神（寿老人）。

立派な構えの神社だ。参拝客も多く行列して参拝。

次は、向島百花園の福祿寿。白髭神社のすぐ近くにあった。百花園なのでシニア料金70円を払って入園。福祿寿は入口にほど近い所に祭られていた。お参りした後、園内を散策

七草が目付いた。草木が沢山あるので四季折々に楽しめそう。

次に、長命寺の弁財天。長命寺というけれど本堂らしいものは見えなかった。弁財天にお参りした。時代小説によく出てくる名物桜餅はと見回したがそれらしいものなし。近くで売っているということで、よく知っている人に付いて堤に出ると桜餅のお店があった。

行列に恐れをなして、買い求めることは断念。

次は、弘福寺の布袋尊。弘福寺は本堂が工事中のため布袋様は本堂左横に仮設されていた。

ここは珍しく布袋様を良く拝むことが出来た

次に、三囲神社の恵比寿・大国神。この神社は、三越と関係あるらしく、ライオン像が奉納されていた。本殿の左横に、恵比寿様と大国様が並んで祭られていた。ここを拝んで七福神めぐりは無事終了。

三囲神社の近くに、寒いのに桜が咲いていた。ここから、隅田川沿いに進んで、言問橋を渡り、スカイツリーを見ながら隅田公園を横切り、ランチを予約している浅草のゲートホテル雷門13階のレストランに急いだ。予約していた13時に間に合った。

レストランでは、スカイツリーを横目に生ビールやワインなどで乾杯。ランチセットは豪華で、パンも小ぶりでしたが美味しくお代わりをしました。話に花が咲いて、あっという間



に3時過ぎ。最後に皆でスカイツリーをバックに記念写真(参加者16名)。楽しい七福神めぐりでした。

幹事の幸野さん有難うございました。

(中埜岩男)

## 紅葉狩の会

### 塩原温泉・渓谷の紅葉を楽しむ

2014年の紅葉狩は11月13日(日) 予定通り実施され、参加者は16名でした。バスはボストン会で数回お願いしているKEN DREAM社の小型バスで朝8時に東京駅丸ビル前から出発しました。

最初の見どころは塩原ダムにかかる「もみじ谷大吊り橋」で長い橋を渡り楽しみました。その後、日帰り入浴・昼食場所の割烹旅館「湯の花荘」で食事と温泉を楽しみました。露天風呂には日本酒が



置かれており、何人かの方が小原庄助さん宜しく入浴しながらのお酒を楽しみましたが、水と間違ってしまう人もいました。その後「虹の吊り橋」で最盛期の紅葉を楽しみました。予定の「日塩モジライン」は紅葉の盛りが過ぎていたので「塩原バレーライン」経由で東京駅前に戻りました。

もいました。その後「虹の吊り橋」で最盛期の紅葉を楽しみました。予定の「日塩モジライン」は紅葉の盛りが過ぎていたので「塩原バレーライン」経由で東京駅前に戻りました。

(藤盛紀明)

## ゴルフの会

秋季ゴルフ懇親会は、11月20日に、秋晴れの川崎国際生田緑地ゴルフ場で、開催されました。

今回は、二人の新しい方たちを含む10名の参加となりました。

新ペリエ方式での順位決定方式で、林さんが堂々の優勝を飾られ、前回優勝の土居さんが2位に入られました。



詳細報告

因みに、ゴルフ懇親会は、出来るだけ多くの方々が、参加しやすいようにと、現在の川崎国際生田緑地ゴルフ場で開催するようにしております。

もっと良い場所があるということなら、是非お知らせください。幹事からのお願いです

(山崎恒)

## 伝統芸能の会

2015年1月18日、第6回「歌舞伎観劇」を国立劇場にて開催しました。新春歌舞伎公演「通し狂言 南総里見八犬伝」曲亭(滝沢)馬琴の代表作を尾上菊五郎が監修、華やかな舞台でした。



当日は首都圏だけでなく京都からも参加者が集い、総勢32名が参加されました。ボストン会佐藤会長の開会の辞に続き、日本芸術文化振興会理事長の茂木様(元日本ボストン会会長)からご挨拶をいただきました。昼食、ご歓談の後、前から4~6列目の非常に良い席で歌舞伎を堪能いたしました。観劇後は舞台裏見学も行われ楽しい一日を過ごしました。

茂木様をはじめ、振興会の皆様にはこの場をお借りして感謝申し上げます。

(吉野静子、滝沢典之)

日本ボストン会事務局



〒153-0064 東京都目黒区下目黒4-17-6

会報の原稿を募集します。内容はボストンやニューイングランドに関連のあるものとします。ご寄稿頂ける方は、掲載についてご相談をさせた頂きたい、事務局までご連絡ください。連絡先：